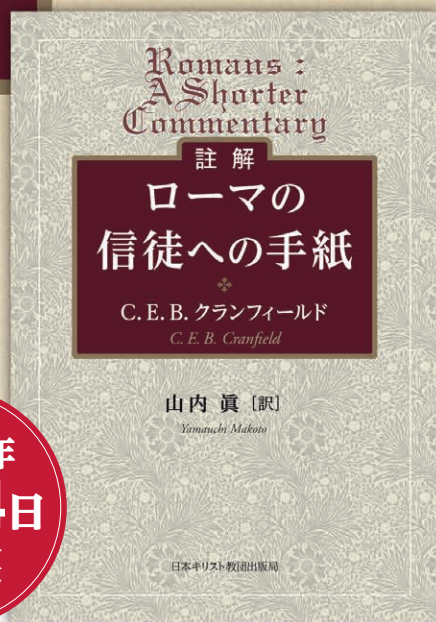


註解 ローマの 信徒への手紙

C. E. B. クランフィールド
山内 眞 [訳]

優れた註解シリーズ
ICC『ローマ書』
簡約改訂版
待望の邦訳！



定評ある英国の註解書「International Critical Commentary (ICC)」シリーズ『ローマ書』の簡約改訂版。コンパクトにまとめられた原著を、著者自身がさらに考察を深め、最晩年まで改訂し続けた最新の内容を反映させた邦訳。

A5判 上製・546頁・本体10,000円+税
ISBN978-4-8184-1032-9 C3016

2020年
3月24日
刊行 予定

Cranfield教授が註解者として特に際立っている点は、緻密な論述にはつきり認められる鋭い分析力にあるだろう。古い時代から註解者たちの読み方がややこしく分かれている箇所・テキストの解釈に際しては、ほとんどの場合教授は異なった、しかもしばしば入り組んだ主な見解・意見を注意深く吟味し、かつ自身の論拠を明示して結論を導き出している。他を凌ぐその徹底性、手際よさには定評がある。さらに、この註解書の特質を示すものは、著者がテキストに取り組む姿勢・構え、聖書本文への接近の仕方にある。教授がアカデミック・学究でありつつ、しかし同時に一牧師として、すなわち説教者・牧会者として、神学的に——かつまた実際的メッセージに対する関心をも合わせて抱きながら——テキストを読み解き、テキストそのものが願っているようにこれをトータルに捉えるべく努めている点は刮目に価する。おそらくは読者は、著者の聖書証言に対するそうした取り組みのスタンスが、この註解書に一種ユニークなクオリティを付与しているのを読み進むにつれ早晩感得するだろう。

訳者のことば

山内眞
やまうち まこと
東京神学大学名誉教授

目次

Romans : A Shorter Commentary

概説

第一章 手紙の冒頭の決まり文句 (1:1-7)

第二章 パウロとローマ教会 (1:8-16a)

第三章 書簡の主題 (1:16b-17)

第四章 神からの、信仰のみによる義の啓示
— 「信仰による義人」の詳説 (1:18-4:25)

- 一 福音に照らして見ると、信仰による以外に人間が神の前に義しい可能性はまったくない (1:18-3:20)
 - (一) 人間についての福音の判断 (1:18-32)
 - (二) ユダヤ人は例外ではない (2:1-3:20)
- 二 福音の出来事における神からの義の現れ (3:21-26)
- 三 すべての誇りは排除されている (3:27-31)
- 四 誇りは排除されたという主張の確証としてのアブラハムの例 (4:1-25)

第五章 信仰による義人たちに約束されている生
— 「生きるであろう」の詳説 (5:1-8:39)

- 一 神との平和によって特徴づけられている生 (5:1-21)
 - (一) 神との平和 (5:1-11)
 - (二) キリストとアダム (5:12-21)
- 二 聖化によって特徴づけられている生 (6:1-23)
 - (一) 罪に対して死んだ、神に対して生きている (6:1-14)
 - (二) 主人の選択 (6:15-23)
- 三 律法の有罪判決からの解放によって特徴づけられている生 (7:1-25)
 - (一) 律法の有罪判決からの解放 (7:1-6)
 - (二) 律法に関して述べられたことについての必要な説明 (7:7-25)
- 四 神の霊の内住によって特徴づけられている生 (8:1-39)
 - (一) 霊の内住 (8:1-11)
 - (二) 霊の内住— 神の律法の確立 (8:12-16)
 - (三) 霊の内住— 希望の賜物 (8:17-30)
 - (四) 第五章四節と先行箇所全体の結び (8:31-39)

第六章 人間の不信仰と神の真実 (9:1-11:36)

- 一 第六章の主題 (9:1-5)
- 二 人間の不信仰と不従順は神の憐れみのわざの内に含まれている (9:6-29)
- 三 イスラエルには弁解の余地はない。しかしながら聖書に鑑みて私たちは、異邦人たちが信じるという事実がイスラエルに妬みを起させるであろうということを望み得る。10章21節における旧約聖書の引用句は望みに満ちた響きを伝えている— というのは、引用句は、イスラエルがその方に対して罪を犯した神の優しさを示すことにより彼らの罪の重さを指摘するが、その主要点はイスラエルの罪でなくイスラエルに対する神の優しさにあるからである (9:30-10:21)
- 四 神はその民を見捨てなかった (11:1-32)
 - (一) 恵みの選びによる残りの者 (11:1-10)
 - (二) イスラエルの大部分の拒絶は永久には続かない (11:11-24)
 - (三) 神の憐れみ深い計画の奥義 (11:25-32)
- 五 第六章の結び (11:33-36)

第七章 信仰による義人たちに命じられている従順 (12:1-15:13)

- 一 第七章の主題 (12:1-2)
- 二 信仰共同体の一員としての信仰者の、仲間のメンバーたちとの関係 (12:3-8)
- 三 緩やかに結び付いた一連の勧告 (12:9-21)
- 四 信仰者の国家に対する義務 (13:1-7)
- 五 愛の負債 (13:8-10)
- 六 キリスト教徒の従順の終末論的動機づけ (13:11-14)
- 七 「強い」人々と「弱い」人々 (14:1-15:13)

第八章 書簡の結び (15:14-16:27)

事項索引／訳者あとがき

著者訳者紹介

著者：C.E.B.クランフィールド (Charles Ernest Burland Cranfield)
1915年生まれ。英国の神学者・新約聖書学者・牧師。ダーラム大学名誉教授。英国学士院会員。2015年、99歳で死去。

訳者：山内真 (やまうち まこと)
1940年大阪市生まれ。東京神学大学院卒業、日本基督教団吉祥寺教会担任教師、エディンバラ大学大学院博士課程卒業 (Ph.D.)、チュービンゲン大学神学部特研究生、日本基督教団鎌倉雪ノ下教会担任教師、東京神学大学常勤講師、助教授を経て東京神学大学教授 (新約聖書神学)、エディンバラ大学神学部客員教授、東京神学大学学長を歴任。2009年より東京神学大学名誉教授。

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 TEL 03-3204-0422 FAX 03-3204-0457
■ホームページ <http://bp-uccj.jp> ■Eメール eigyou@bp.uccj.or.jp

お
申
し
込
み
書

ローマの 信徒への手紙

C.E.B.クランフィールド 山内真 訳

A5判 上製・546頁・本体10,000円+税 ISBN978-4-8184-1032-9 C3016

注文数

冊

取扱店名

お名前

Tel.

〒

ご住所